

令和7年度 観点別学習状況の評価から評定への総括の方法

江戸川区立東小岩小学校
校長 佐々木 恵子

素点の合計値を出し、年間の評定とするが、絶対的なものとはせず、判定のおよその目安とするものである。

1 各教科（観点ごと）の評価から年間の評価を出す。

各学期の評価を、A：3点 B：2点 C：1点として合計値を出す。項目によっては、3学期分の評価が揃わない場合（保健等）があるので、その際は評価の材料に戻り、よく検討する。

A・B・Cの線引きは、本校の点数による評価基準点（A：90以上 C：70未満）をおおむね反映している。点数だけでなく、教育活動全体を考慮して評価の判断をする。

① 計算方法

各学期の評価（観点ごと）	素点の合計	年間の評価
A A A A A B	8～9	A
A A B A A C A B B A B C B B B B B C	5～7（8）	B
B B C A C C B C C C C C	3～5	C

② 計算例

	1学期	2学期	3学期	年間の評価
知識・技能	A	A	A	A
思・判・表	A	A	B	A
主体的な態度	A	B	B	B

2 年間の評価（ABC）に基づいて、要録の評定（1. 2. 3）を出す。

年間の評価を、A：3点 B：2点 C：1点として合計値を出す。

① 計算方法

各観点の年間の評価	素点の合計	要録の評定
A A A A A B	8～9	3
A A B A A C A B B A B C B B B B B C	5～7（8）	2
B B C A C C B C C C C C	3～5	1

② 計算例

	知・技	思・判・表	主体的な	年間の評価
国語	A	A	A	3
社会	A	A	B	3
算数	A	B	B	2

※上記の場合以外は、観点ごとの重み付けの違いや実現状況に幅があることを考慮して総括する。